

「ようこそ平郡東小へ」大作戦
～学校発 地域みんなを元気に～

柳井市立平郡東小学校

1 はじめに

本校は令和2～4年度の3年間、児童の在籍がなく休校していたが、今年度、新1年生が入学して再び開校となった児童数1名の極小規模校である。再開校への地域の期待は大きく、開校式には40名以上の方が参列して下さった。学校発の地域活性化のために、今年度『「ようこそ平郡東小へ」大作戦』を計画した。学校に足を運んでいただくだけでなく、学校を中心とした行事等を通して地域の連携を深め、島を元気にすることを目標にして取り組んだ。

2 活動の概要

(1) 地域参観日

毎月の参観日を地域参観日として、保護者だけでなく地域の方にも来ていただけるようにご案内している。地域の掲示板へ児童が書いたメッセージ入りのお知らせを貼ったり、児童自らが島内放送をしたりして周知を図っている。1学期は、1年生を迎える会、体力テスト、七夕集会などを行ったが、多くの地域の方に参加していただいた。参観授業においても、地域の方に授業を見ていただくだけでなく、参加型の授業にしている。算数の授業では、児童が学んだことを生かして問題を作り、先生役となって地域の方に答えていただいた。アウトプットする場が増えて、児童の学びも深まった。また、学校が支所と同じ建物内にあるため、入り口付近に学校の様子が見える掲示を充実させ、地域の方に学校の取組を知っていただけるようにしている。



(2) デイサービス訪問

不定期ではあるが、デイサービスの訪問をしている。鍵盤ハーモニカやハンドベルの演奏などをして、施設の方々にたいへん喜んでいただいた。児童にとっても、学習の成果を発表することができ、毎回訪問に向けて意欲的に練習に取り組んでいる。学校行事の際には、デイサービスの方々が来校し、児童の発表を温かく見守ってくださった。



(3) 平郡東地区文化祭

11月に小学校体育館で平郡東地区の文化祭が開催され、小学校の出し物としてオリジナルの劇を披露した。平郡の牛・キジ・たこ・ひじき・さつまいもが登場する劇で、これらのキャストを牧場・診療所・警察署・郵便局の地域の方々にご協力いただいた。当日までに全員で数回練習して、本番ではアドリブの上手な個性豊かな共演者の方々と一緒に、楽しく演じることができた。会場もおおいに盛り上がり、文化祭の成功に貢献することができた。児童も、「平郡をもっと元気にすることができた。」と満足していた。



(4) 亥の子

地域の方々と平郡の伝統的な行事である「亥の子」を行った。事前に民芸保存会の方に来ていただき、亥の子唄の練習と竹かざりの準備をした。当日は何度も大きな声で亥の子唄を披露して、たいへん盛り上がった。地域の方も大勢参加してくださり、亥の子唄を唄いながらみんなで一緒に亥の子のひもを引っ張った。一体感があり、とても素敵な行事である。児童は、来年はもっと多くの亥の子唄を覚え、ふるさとの伝統行事をしっかりと受け継ぎたいと言っていた。



(5) 秋祭り集会

11月に秋祭り集会を行った。まつぼっくりやどんぐりで様々なゲームを作り、地域の方に楽しんでもらった。集会後、学校の図書の本に興味をもたれ、ゆっくり読んで帰られた地域の方も多かった。学校に気軽に来ていただき、読書をしていただくことも今後考えていきたい。



(6) 持久走大会

12月に行った持久走大会では、20名以上の地域の方がたった一人の1年生の応援に来てくださった。一緒にスタートして下さったり、ゴール手前から一緒に走って下さったりして、盛り上げていただいた。また、沿道からの大きな声援のおかげで、児童はめあてとしていた記録を大幅に縮めることができた。来年は、地域の方に事前にエントリーしていただき、地域の持久走大会に拡大していきたい。



3 成果

- 再開校初年度であり、児童が1年生1名ということを考え、学校・地域連携カリキュラムを見直し、まずは学校の活動に関心を持ち、参加していただけるような取組を多く行った。多くの方に行事や参観日に来て楽しんでもらえ、地域の活性化につながった。
- 地域の方との関わりの中で、児童は学びを深めたり、学びの成果を発表したりすることができた。褒めていただいたり、大きな拍手をいただいたりすることで、児童の自己肯定感も高まり、地域への思いもより大きなものとなっている。

4 課題

- より多くの地域の方に来ていただけるように、島の行事との調整を図るとともに、周知の方法についてもより効果的になるように工夫していきたい。
- 今後、地域人材の活躍の場を作ることで、児童の学びの広がりや、地域の方にとっての生きがいにつながってほしい。